

施工条件

完成した手摺が十分な強度を確保する為に必ず次の条件を守って下さい。

(1) 壁下地について

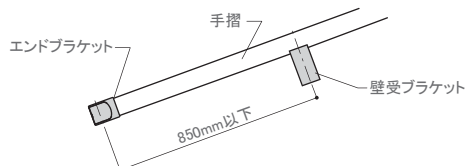
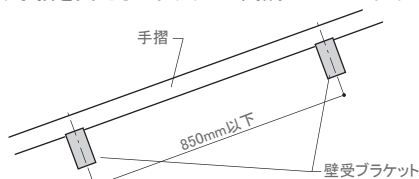
ブラケットを固定する下地は、12mm以上の合板貼など丈夫なものとして下さい。石膏ボードや薄い合板の下地では、ねじが十分に効かないので脱落するおそれがあり危険です。

(2) 手摺を支えるブラケットの間隔は850mm以下として下さい。



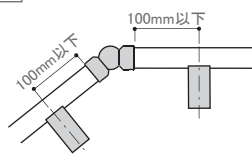
ご注意

手摺は、ブラケットを用いて850mm以下の間隔で固定して下さい。手摺や取付け金具に無理がかかり、破損するおそれがあります。

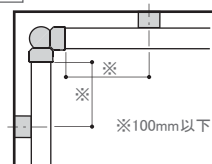


(3) フリーコーナーを取付ける場合

A 勾配部

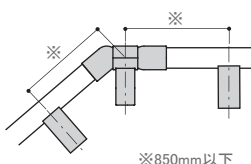


B 入隅部



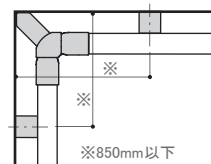
(4) 勾配ブラケットを取付ける場合

勾配部



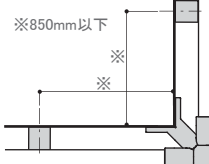
(5) 入隅ブラケットを取付ける場合

入隅部



(6) 出隅ブラケットを取付ける場合

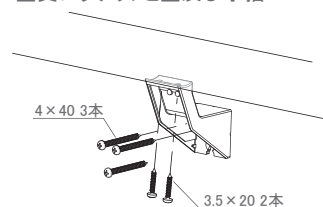
出隅部



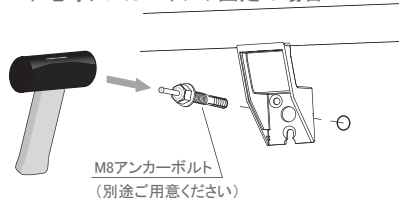
(7) ブラケットを壁紙貼付け前に仮施工する場合は、下記『仮固定方法』をご参照して下さい。

(8) 「ブラケットと壁」「ブラケットと手摺」は、同梱のねじで止め忘れのないように確実に固定して下さい。

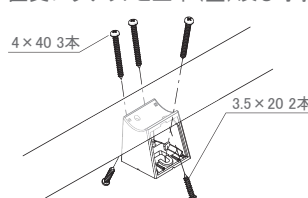
1. 壁受ブラケットと壁及び手摺



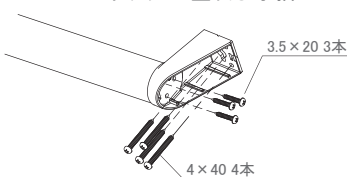
RC下地等アンカーボルト固定の場合



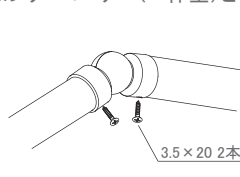
2. 直受ブラケットと笠木(壁)及び手摺



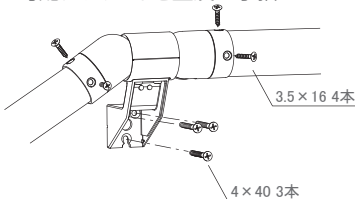
3. エンドブラケットと壁及び手摺



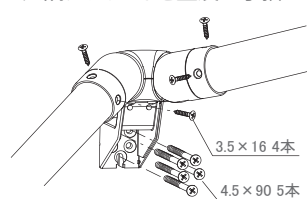
4. フリーコーナー(一体型)と手摺



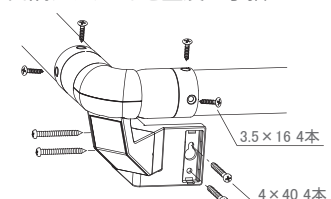
5. 勾配ブラケットと壁及び手摺



6. 入隅ブラケットと壁及び手摺



7. 出隅ブラケットと壁及び手摺

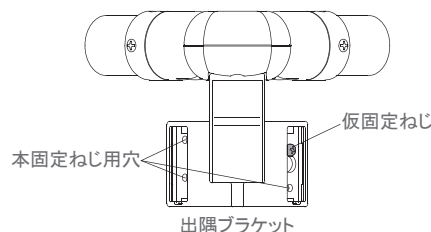
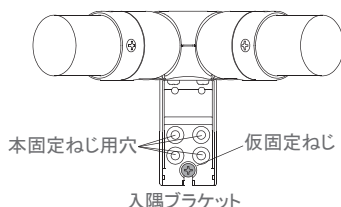
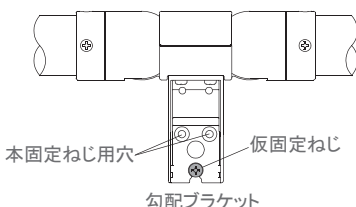
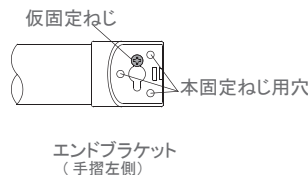
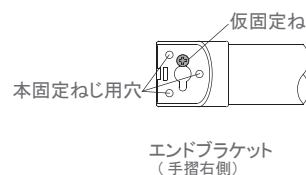
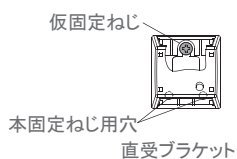
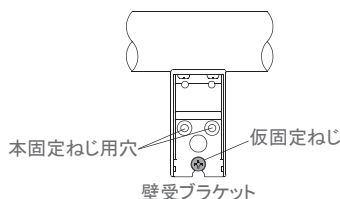


仮固定方法

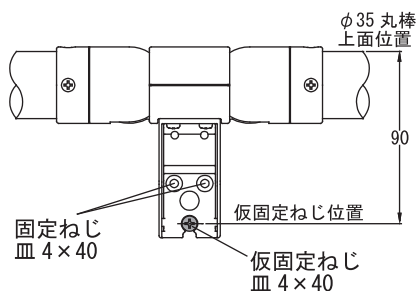
壁紙貼付け前に仮施工する場合ご参考にして下さい。

(1) 壁紙貼り前の仮固定

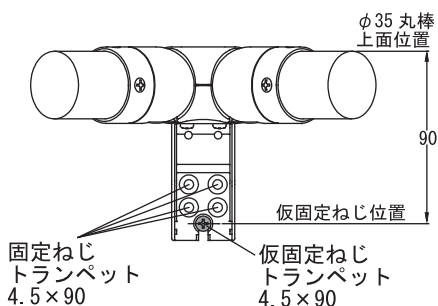
ブラケットを壁紙貼付け前に仮固定ねじ(下記図参照)で壁に固定し、手摺を固定しておくと、壁紙貼付け時に仮固定ねじを緩めるだけでブラケットを外すことができます。壁紙貼付け後、ブラケットを仮固定ねじに引掛け、仮固定ねじ・本固定ねじで完全固定を行って下さい。



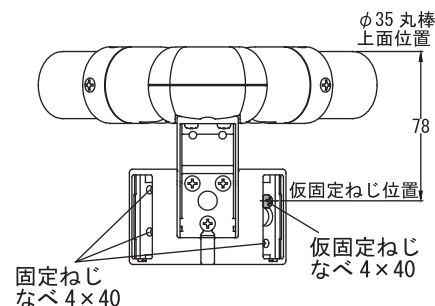
施工説明書



AT35-KW
着脱勾配ブラケット

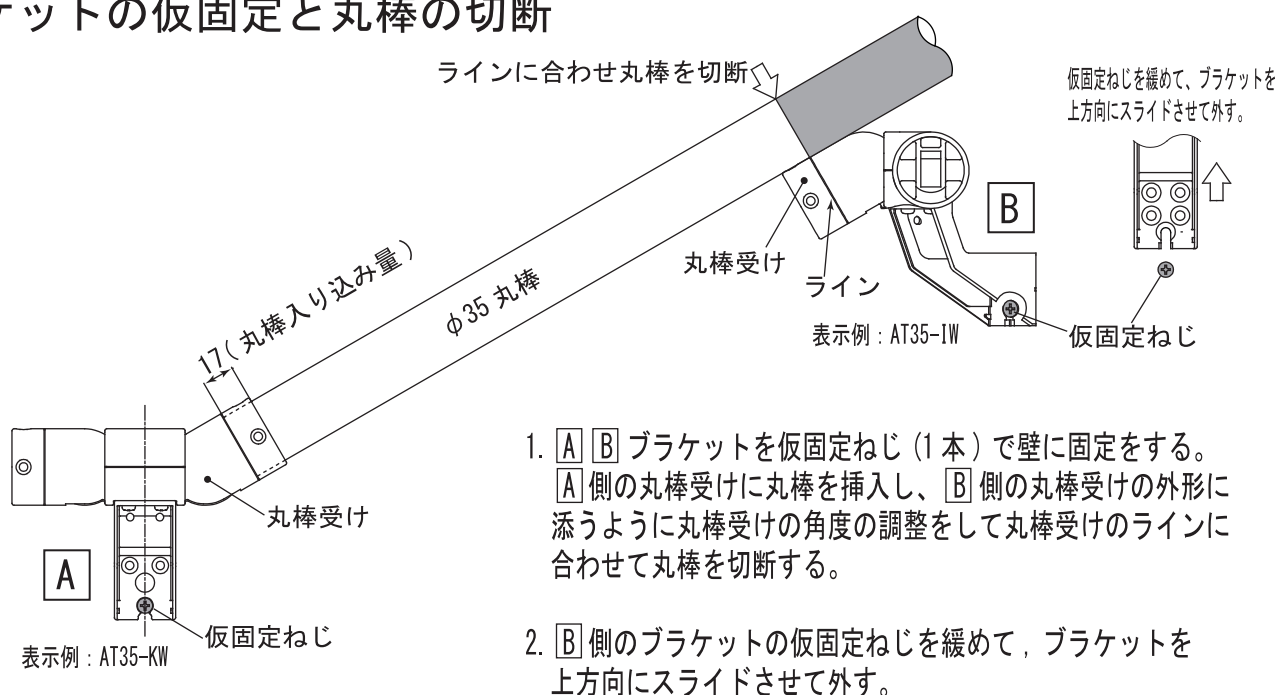


AT35-IW
着脱入隅ブラケット



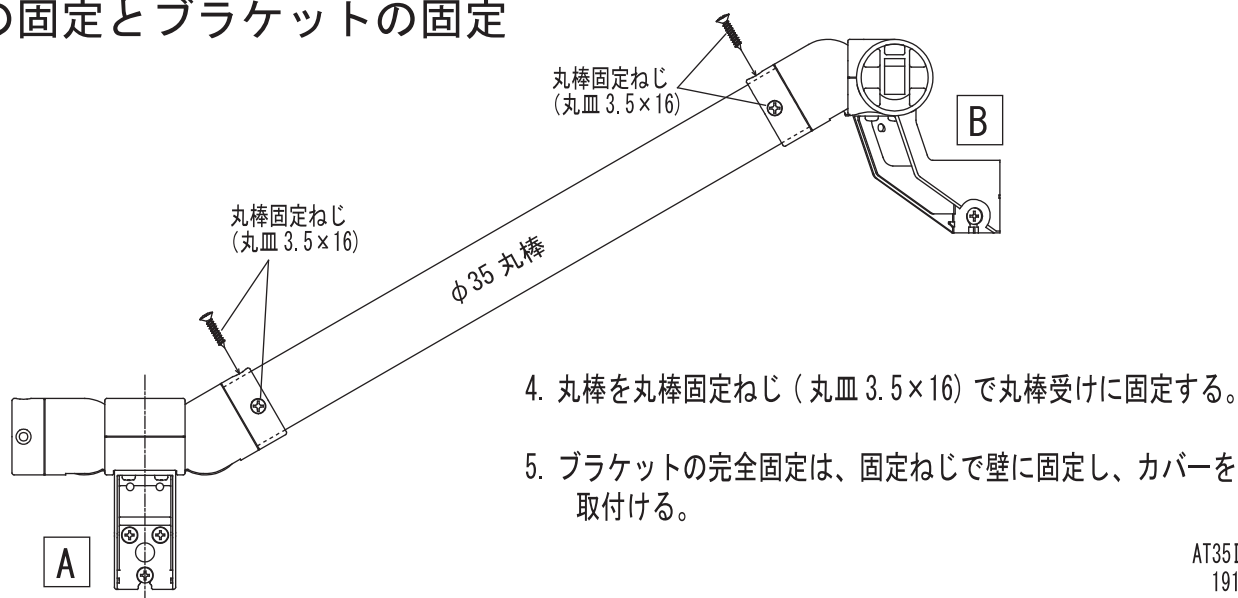
AT35-DW
着脱出隅ブラケット

■ ブラケットの仮固定と丸棒の切断



1. **A** **B** ブラケットを仮固定ねじ (1 本) で壁に固定をする。
A 側の丸棒受けに丸棒を挿入し、**B** 側の丸棒受けの外形に添うように丸棒受けの角度の調整をして丸棒受けのラインに合わせて丸棒を切断する。
2. **B** 側のブラケットの仮固定ねじを緩めて、ブラケットを上方向にスライドさせて外す。
3. 切断した丸棒を **A** **B** ブラケットの丸棒受けに挿入し、
B 金具を元の位置に戻し、仮固定ねじで固定する。

■ 丸棒の固定とブラケットの固定



4. 丸棒を丸棒固定ねじ (丸皿 3.5×16) で丸棒受けに固定する。
5. ブラケットの完全固定は、固定ねじで壁に固定し、カバーを取付ける。